

令和6年12月20日

患者様各位

一般財団法人桜ヶ丘病院  
院長 渡部 康

### インフルエンザ予防接種予診票の散乱について

令和6年12月18日午前10時すぎ、市民通報が福島市保健所に寄せられ、福島市泉付近にて散乱していたインフルエンザ予防接種予診票が回収されました。

当該予診票は、一般財団法人桜ヶ丘病院附属栄町クリニックにて平成21年度に実施されたもので、回収された予診票の枚数は81枚ありました（原本又はコピーされたもの）。

（福島市民75人、二本松市民3人、伊達市民3人）

原本は、複写式インフルエンザ予防接種予診票で医療機関用の控え。

コピーは、当時の事務職員が請求控えとして写したものと思われます。

予診票には、氏名、生年月日、住所、電話番号、治療中の病気が含まれます。

患者様に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたこと誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めてまいります。

附属栄町クリニックは、今年6月30日に閉院し、全ての物品を7月末日までに搬出しております。

処分可能な帳票類は、7月23日（火）に「あぶくまクリーンセンター」へ当院職員が搬入し焼却処分。カルテに関しては、桜ヶ丘病院倉庫にて保管しております。

搬出時、全て段ボール箱に梱包、運搬しており、段ボール箱の紛失等はありませんでした。

現在、その他の個人情報の流失は確認されておりません。

7月の搬出から約5か月経過後の今回の事案となっており、管轄警察署へ相談することも視野に入れ、今後の対応、特に当該患者様への謝罪方法について、すべて検討中でありませ

今後、判明しましたことは、当院ホームページにて公表するとともに当該患者様へ直接対応できるよう進めてまいります。

このような事案を発生させ、初めてのこととは言え、公表の仕方を含めて確認に手間取り、公表が遅れましたこと誠に申し訳ございませんでした。